



●印刷所：株式会社光明印刷 川崎市幸区塚越4-345 ●発行人：田村伸一郎 川崎市宮前区宮崎5-14-13-301

一人によりそう。明日へつなぐ。ぜひ、ホームページにアクセスして下さい。
Q- 田村しんいちろう 検索

■市民相談などお気軽に声をかけてください。

議会 電話：044-200-3361 FAX：044-245-4137
E-mail：tamura@komei-kawasaki.com

公明党川崎市議団HP



川崎市議会

田村しんいちろう議員は、3月9日の令和3年第1回定例会予算審査特別委員

会で①コミュニティ推進費について②認知症疾患医療センター運営事業費について③特別支援教育費についての3項目について当局に質疑しました。

プロフィール

文教委員会
特別委員会副委員長
花の台町内会会長(3期目)
宮前平中学校前PTA会長
宮前平小学校前PTA会長



一般質問に立つ田村議員

町内会・自治会支援 『補助制度』創設へ

田村議員は、「平成30年度第1回市議会定例会」で、横浜市など他都市が「地域活動推進費補助金」を交付し支援をしていることについて、はじめて取り上げ、本市でも導入するよう繰り返し求めてきました。

花の台町内会会長を5年間務めていることもあり宮前区町内会連合会の役員の方をはじめ、区内の町内会・自治会関係者の皆さまから多くのご意見やコロナ禍における切実な声を聴き、抱えている課題に対して支援策を議会に提案してまいりました。

市長が方針示す

福田市長は議会冒頭の施政方針で、町内会・自治会活動の維持拡大支援の必要性に触れ、早急に町内会・自治会支援のあり方の検討を進め、6月までに具体的な取り組みを示す方針を発表。「早急により良い支援策となるよう努める」と答弁しました。

また、市民文化局長は、補助制度の目的や補助対象経費等の具体策について「横浜市の地域活動推進費補助金を参考に検討を進めている」と明らかにしました。

区職員増強で個別支援を

小規模な町内会・自治会では、資金だけでなく活動資源にも一定の限界があり、この制度を効果的、効率的に活用していけるか、不安の声を紹介。そこで、補助制度の申請に係る相談対応などのきめ細やかな個別支援を行う体制を、信頼関係を構築している区職員を増強するなどし、しっかりとした体制整備の必要性を提案。加藤副市長は「適切な制度運用に向け支援体制についても検討していく」と前向きな答弁をしました。

また、町内会館の維持管理費については、町内会館は町内会・自治会活動の基盤となるだけでなく、地域の様々な活動にも活用され、ゆるやかな見守り、つながりを促進する場として地域包括ケアシステムにも大きく寄与しており、維持活用にも適切な補助を行う必要があると要望しました。

認知症疾患医療センターが増設！ ～地域に寄り添う医療機関を～

田村議員は、認知症疾患医療センターについて質し、健康福祉局長は「南北医療圏域において、地域型のセンターを1カ所ずつ増設する」と答弁。専門医による鑑別診断等が可能で、認知症カフェや市民向け講座の実施など、地域との連携に取り組む医療機関が望まれます。



特別支援学校の 新設・教育環境の改善を！

田村議員は、特別支援学校の在籍者数の増加により慢性的な教室不足(作業学習・自立活動)が続いていることや、変電設備や電気回路などの老朽化により設備不良箇所が頻発して学校生活に支障が出ていることを指摘。

今後は、設置基準の適用を見据えて特に児童生徒数の増加が著しい幸区、中原区への特別支援学校の新設や教育環境の改善を強く求めました。

公園内に「排水施設」を整備

公園の清掃・除草を行っている管理運営委員会や利用団体等の皆さまから、「大量の土砂が流れ落ち側溝が埋まりやすいので、公園内部に排水マスの整備をして対策を講じてほしい」との要望が届きました。

田村議員は、道路公園センターと連携を図り現場調査を実施。待望の排水マスの設置が実現しました。(宮崎第4公園)



皆様の声をカタチに

コロナ禍における女性の負担軽減を！



コロナ禍における女性の「生理の貧困」解決に向けた支援に関する緊急要望を市長に申し入れしました。

経済的な理由で生理用品を購入できない人や、ネグレクト(虐待)により親などから整理用品を買ってもらえない子どもがいる現状に触れ、防災備蓄品などを活用した無償配布や品質管理のための期限を設定して必要な方に配布することなどを求めました。

3月23日 福田川崎市長室にて緊急要望を実施